



今週は、USCGC Tahoma での航海への同乗や、国内の軍事大学の留学生が集まるパーティーに参加しました。

USCGC Tahoma に乗船

今回乗船した Tahoma は全長 82m、総トン数 1,800 トンの海難救助や密輸取締を主な任務とする船です。この日は、乗組員の家族向けの体験航海の日で私たちも出入港作業や船橋での操船を見学することができました。Tahoma には紙チャートがなく ECDIS のみ搭載しており、変針の際に ECDIS 上のカウントダウンを読み上げていたり、日本と異なる点が多くあり非常に良い経験となりました。



Service Academy International Ball

このイベントはアメリカ国内の陸、海、空軍の各士官学校と USCGA に通う 40 を超える国の留学生が一同に会して食事やダンスを踊るイベントで、コロナ禍以前は US Naval Academy が主催していたものの、今回コロナ禍明けに USCGA が音頭を取り伝統を復活させました。イベントは終始賑やかで、多くの国の人々と交流できる貴重な機会となりました。



研修生のコメント

今回の International Ball のような礼服を着ての国際交流イベントに参加することは初めてでしたが、非常に多くの国を代表する留学生や士官候補生と交流することができました。海上保安庁は軍とは違う性質を持ちますが、国際協力という分野において多くの仲間が集うコミュニティを見つけることが出来たのは非常に心強いです。当日の様子の写真は USCGA が運営する internationalcadets というインスタグラムアカウントの 2/5 の投稿にてご覧になれますので、興味のある方はご覧ください。(内田 洋都)

今週は、International Ball で USCG だけでなく陸海空軍の士官候補生たちとも交流したり、USCGC Tahoma で実際に航海に出て操船や甲板作業を見学することができ、充実した 1 週間を過ごすことができました。残り 2 週間も楽しみつつ色々な経験が出来ればと思います。(真崎 輝)